



# 我等行く手の



令和5年度  
6月号  
利根商  
進路だより



夢も目標もないから、進路選択できない……。



『自分にできること』から進路選択しよう！  
次第に『できること』が『夢』『目標』  
『生き甲斐』を育ててくれるはずです！

## ●自分の『できること』から進路を考え、夢を育てる

あなたには夢はありますか？もちろん、夢を持っている人はそれに向かってキラキラと邁進してください。けれども、多くの人が自分の夢を問われて答えに詰まってしまうのではないのでしょうか。

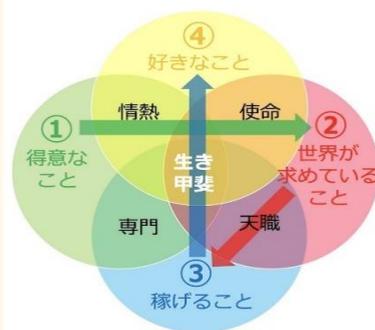
進路指導をする中で、『やりたいことがないから、進路選択に困る』という話を良く聞きます。高校を選択する際にも『何となく利根商』『近いから利根商』という人も多かったのではないのでしょうか？しかし、高校卒業後の進路を、自分の人生を『何となく』で決め続けるわけにはいきません。

行き詰まったとき、大切なのは発想を転換させることです。ここでオススメするのが『できることから進路を考える』という発想です。そして、『できること』を『夢』や『目標』に育てていくのです。

絵が得意だからイラストレーターになりたい、歌が得意だから歌手になりたい、パソコンが得意だからSEになりたい、考えてみれば『できること』が先にあって、『夢』や『目標』はそこから生まれるのです。

## 生き甲斐と仕事

生き甲斐を見つける順番



でも、私にできることなんてないです……



そんなときこそ、学校生活を大切にしよう！

## ●自分の『できること』を増やすために学校を利用する

『できること』なんて『夢』や『目標』よりもっとないよ！という人もいるかもしれませんが、では、質問です。学校は何のためにあるのでしょうか？もちろん、『できること』を増やすためにあるのです。商業の授業で簿記に詳しくなったから、日商簿記検定を受けて税理士・会計士として就職したい。英語の授業で簡単な英会話ができるようになったから、英語系の大学に行って通訳を目指したい。部活でボランティアの魅力に気付いたから、青年海外協力隊に挑戦したい。などなど、学校生活は『できること』を獲得する宝庫です。まずは、毎日の授業から『できること』を増やしていきませんか？



何をできるようになれば良いですか？



これからの社会を想像してみよう！

## ●これからの社会から『できること』を逆算する

では、何をできるようにするのが望ましいのでしょうか？一番は自分の好きなことだと言えますが、それが進路に繋がらないかもしれません。そんなときは、これからの社会がどう変化するのか想像してみましょう。グローバル化で外国語が重要になるから英語や中国語に力を入れる、高齢化が進むから介護を学ぶ、そういった発想で何をできるようにすべきか考えてみましょう。

今、夢や目標がある人も『将来の社会』を踏まえて夢や目標がこの先どうなっていくのか、再検討してみるのも良いかもしれませんね。

